

# 南京錠「重い愛」どころする

カップルが永遠の愛を誓って南京錠を柵や網に取り付ける——。いつの間にか世界中で定着したその「慣習」。お陰で南京錠が鈴なりにぶら下がっている観光地は少なくない。「訪れる人が増えた」と自治体は歓迎する。一方で、「重くて切れた」「景観を害する」と禁止する動きも。「重い愛」をどうすればいいのか……。



野間灯台にある南京錠専用のモニュメント＝愛知県美浜町

田原・恋路ヶ浜

カップル 3割増

愛媛・亀老山

ワイヤ切れ危惧

## ■各地の「南京錠スポット」

| 場所                             | 始まった時期   | 状況   |
|--------------------------------|----------|--|
| 恋路ヶ浜<br>(愛知県田原市)               | 2002年    | 南京錠は不定期で回収し、ハート形のプレートに作り替えて近くで展示                           |
| 野間灯台<br>(愛知県美浜町)               | 1990年代前半 | 回収した南京錠は金属として売り、清掃費などに充てている                                |
| 名古屋テレビ塔<br>(名古屋市)              | 2008年ごろ  | 「恋人の聖地」に認定されて以来、付けられるように。年に一度ペンチで切って外している                  |
| 札幌もいわ山ロープウェイ<br>(札幌市)          | 2011年ごろ  | 山頂展望台にある「幸せの鐘」の手すりに付けられ、場所がなくなれば移し替えることも検討                 |
| 江の島の「恋人の丘」<br>(神奈川県藤沢市)        | 1996年    | 「龍恋の鐘」の脇の柵に付けるカップルが後を絶たないため、管理する市観光協会は、「恋愛成就」の祈願をしてから柵ごと交換 |
| 聖通寺山(しょうつうじやま)展望台<br>(香川県宇多津町) | 1990年ごろ  | 敷地内にある結婚式場のチャペルで数年に1度、「奉納式」で南京錠を祭壇に奉納。祭壇内の保管場所は残り少なくなりつつある |
| 亀老山展望台<br>(愛媛県今治市)             | 2005年ごろ  | 展望台の転落防止用ワイヤに付けられている。禁止の貼り紙をしたことも。対策を検討中                   |
| 福岡タワー<br>(福岡市)                 | 2009年    | 「永遠にロック」をうたった特製南京錠を販売中。たまに南京錠は回収してプレートに加工し、展示場所はなくなりつつある   |

愛知県の渥美半島にある田原市・恋路ヶ浜。太平洋に面した公園の一角に南京錠を付ける専用の支柱が立っている。この1年あまりで付けられた南京錠は約千個。

恋路ヶ浜は2006年、NPO法人・地域活性化支援センター(静岡市)に、プロポーズをするのにふさわしい場所「恋人の聖地」に認定された。以来、市が中心になって専用の支柱を設置するなどPRに力をいれてきた。昨年10月には地元観光団体が「恋路ヶ浜で叶う恋」というキャッチコピーを書いたプレート付き特製南京錠「しあわせの

鍵」を売店などで発売した。近くでレストランを営む男性は「シーズン問わず南京錠を付けに来てくれる。昨年に比べ、カップルの客だけで3割は増えた」と喜ぶ。

「大好き!」「ずっと一緒だよ」……。愛知県美浜町にある野間灯台。海辺のモニュメントで鈴なりの南京錠はそんなメッセージでいっぱいだ。

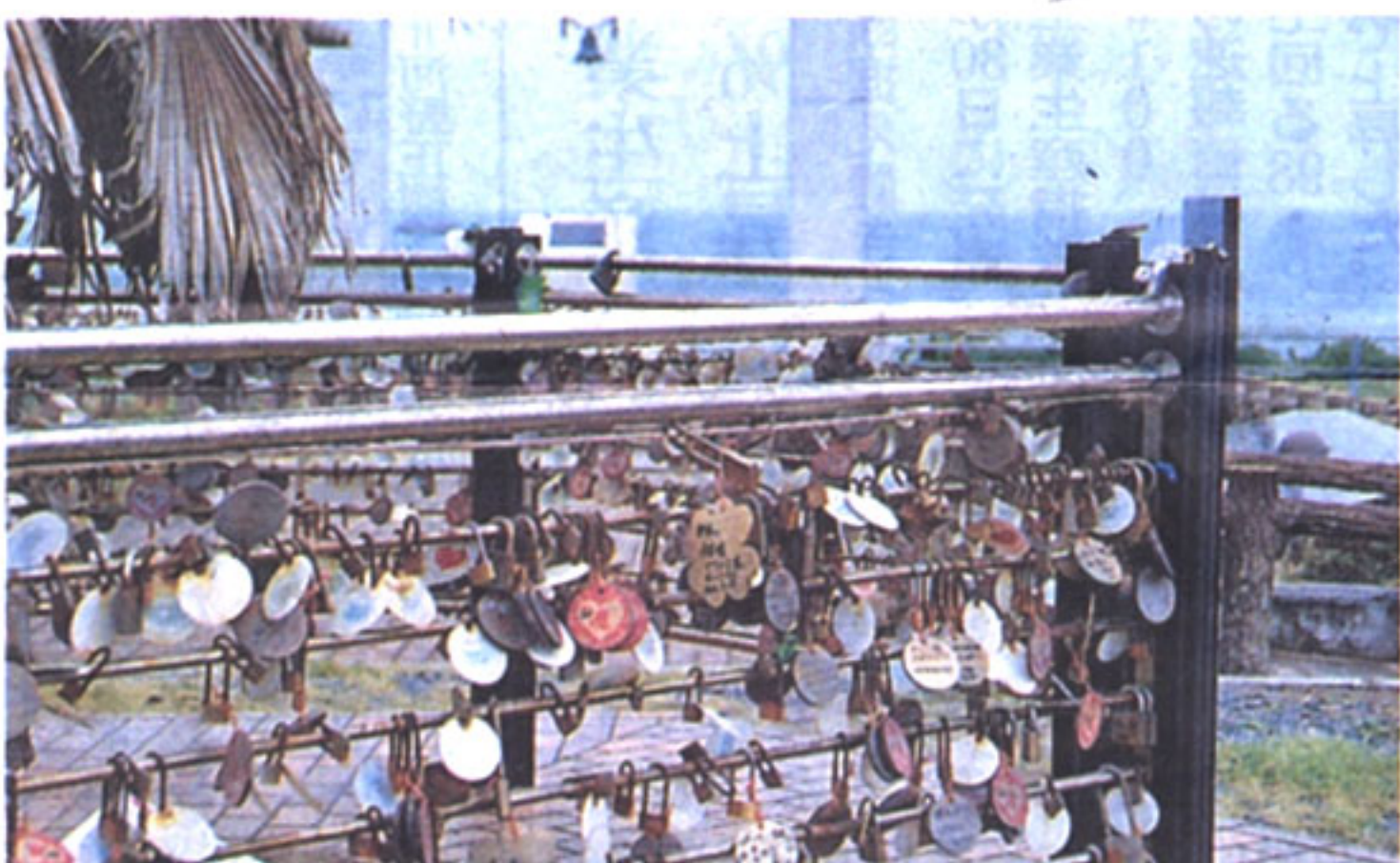
11月中旬、30代の自営業の男性と女性会社員は埼玉から大阪への旅行の帰りに立ち寄った。「少し遠回りになりましたがそれでも来たいと思って……」と照れながら話した。

「恋人の聖地」を選定する地域活性化支援センターの理事で華道家、假屋崎省吾さんによると、「ロミオとジュリエット」の舞台、イタリアのベローナが発祥地だという。「もとは吊いの意味で発生した慣習なのかもしれない。絶対に解けることのない愛の証として南京錠を付け、鍵を川に捨てる。『私たちは2人のようににはならないわ!』という思いが感じられます」と説明している。

## いわれは諸説

「恋人の聖地」を選定する地域活性化支援センターの理事で華道家、假屋崎省吾さんによると、「ロミオとジュリエット」の舞台、イタリアのベローナが発祥地だという。「もとは吊いの意味で発生した慣習なのかもしれない。絶対に解けることのない愛の証として南京錠を付け、鍵を川に捨てる。『私たちは2人のようににはならないわ!』という思いが感じられます」と説明している。

「恋人の聖地」を選定する地域活性化支援センターの理事で華道家、假屋崎省吾さんによると、「ロミオとジュリエット」の舞台、イタリアのベローナが発祥地だという。「もとは吊いの意味で発生した慣習なのかもしれない。絶対に解けることのない愛の証として南京錠を付け、鍵を川に捨てる。『私たちは2人のようににはならないわ!』という思いが感じられます」と説明している。



専用の支柱に付けられた南京錠＝愛知県田原市の恋路ヶ浜

愛媛県今治市の亀老山展望台。展望台の周囲に高さ約1.5メートルの転落防止用の手すりがあり、その下にワイヤが張り巡らされている。一昨年、南京錠の重みで2本のワイヤが切れた。市の担当者は「見た目も悪いし、禁止を呼びかける看板を設置することを検討しています」と話している。

名古屋市中区の名古屋テレビ塔では年に30個以上の南京錠が付けられる。場所は地上1000メートルの屋外の展望デッキの網。南京錠が落ちて下にいる人に当たったら大変。これ以上増えるのは困りもの」と話している。フランス・パリではセー又川にかかる橋が昨年6月、南京錠の重みで欄干の一部が崩落。パリ市は計45トンを撤去した。

（篠原あゆみ）